

## 第34回泌尿器科漢方研究会学術集会

会長： 笥善行(香川大学医学部泌尿器科学教室)

会期： 2017/6/17 ～

会場： コクヨホール(東京都)

## ワークショップ

座長： 順天堂大学 堀江 重郎  
東名古屋病院 岡村 菊夫3. 癌薬物療法中の疲労に対する  
「人参養栄湯」の有用性の検討

香川大学医学部 泌尿器科

○林田 有史、尾崎 悠、内藤 宏仁、宮内 康行  
松岡 祐貴、平間 裕美、田岡 利宜也  
常森 寛行、上田 修史、杉元 幹史、笥 善行

【背景】 癌薬物療法中に疲労・倦怠感により日常生活に支障をきたす事があるが、その副作用対策には確立された治療法はなく、投薬の減量・中止を要することをしばしば経験する。

人参養栄湯は、人参・当帰・芍薬・地黄・白朮・茯苓・甘草・桂皮・黄耆・遠志・陳皮・五味子からなり、体力低下・疲労倦怠・食思不振・貧血に効果があるとされている。

【目的】 癌薬物療法中の患者における疲労に人参養栄湯が有用であるか検討する。

【対象と方法】 2016年9月から2017年1月の間に当院で腎癌及び前立腺癌に対して癌薬物維持療法中の患者にアンケートを行い、疲労感VAS  $\geq 10$ かつ漢方での疲労対策を希望された患者6人（アキシチニブ4人、パゾパニブ1人、エンザルタミド1人）を対象とした。経過中癌治療の変更を行った症例は除外した。

人参養栄湯投与前及び1ヶ月後に質問表（疲労感VAS、SF8、副作用問診票）とHb値について調査した。

【結果】 疲労感VAS平均値は、開始前の50.1から1ヶ月後には33.3と低下した。SF8は全ての項目において人参養栄湯投与1ヶ月後に改善を認めた。副作用問診票から算出した人参養栄湯投与1ヶ月後の症状改善率は、食欲低下：17%、疲労：50%、PS：50%であった。投与前後でHb値には変化を認めなかった。

経過中、人参養栄湯に伴うと思われる有害事象を認めなかった。

【考察】 人参養栄湯は疲労・食欲低下・貧血を改善する効果がある事が報告されている。我々の検討では、投薬後疲労感VASは改善し、SF8を用いた健康調査で身体的健康感、精神的健康感の改善を認めた。また経過中半数の患者で疲労及びPSの改善を認めた。

以上より、癌薬物療法中の疲労に対して、人参養栄湯は症状を緩和する可能性があることが示唆された。